

イチゴのパック詰めロボットに適した 中敷き資材を開発しました

背景

ロボットでのイチゴのパック詰めでは、現行のウレタン製中敷き資材ではイチゴが転がってしまうため、きれいに詰められないことが課題となっていました。

成果の内容

ロボットによるパック詰めに適応させるため、資材上部にくぼみを設けた中敷き資材を開発しました。

イチゴパック詰めロボット

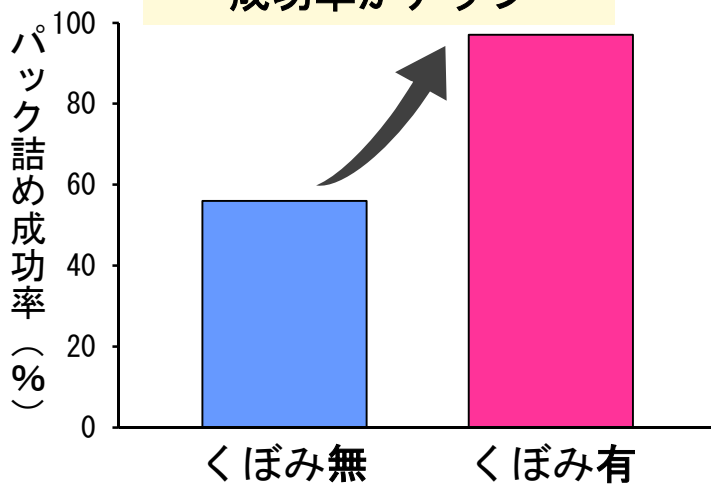


(株) 安川電機製

開発したライトロン製の中敷き資材



ロボットのパック詰め 成功率がアップ



果実が転がり
向きがバラバラ



果実が転がらず
きれいに整列

【研究チームのコメント】

○イチゴパック詰めロボットの普及により、パッケージセンターの受入量が増加し、生産者の労働時間削減と生産拡大に貢献できれば幸いです。

(流通技術部 農林産物流通チーム)